

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・4〉 いわき市立 平第四小学校
〈実施日〉	平成 28年 6月29日(水)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 (2) 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()
〈実践内容〉	1 題材名 「放射線ってなあに」 2 目標 (1) 身の周りにあり放射線について理解する。 (2) 放射線の有効利用の実際について知る。 (3) 放射線が人体に及ぼす影響、危険性、安全な範囲について知る。 3 内容 (1) スイセンから出ている放射線の画像を見せて、何であるかをたずね放射線に興味を持たせる。 (2) 「小学生のための副読本～放射線について考えてみよう」を読み、身の周りのどのようなものから放射線が出ているかを調べる。 (3) 調べたことを発表し、身近なものから放射線が出ていることを知る。(宇宙から、地面から、空気から、食べものから) (4) 放射線は光に似ているが、光より「もの」を通しやすい性質があることを知り、その性質を利用して、いろいろな物に利用されていることを理解する。 (レントゲン撮影、材料を強くする働き、殺菌作用、調査研究) (5) 学習の感想を書く。 (6) 感想を発表し、まとめをする。 ※児童の感想 ○ 私は、放射線はあぶないものかと思っていましたが、実はいろいろなものに使われていることが分かりました。 ○ 放射線はたくさん浴びるとがんになるなど、こわいものかと思っていましたが、役に立つこともいろいろあるということがわかったので、あまりこわくなくなりました。みんなにも放射線のよいところを伝えていきたいと思いました。
〈成果〉	○ 放射線が特別なものではなく、身の周りや自然の中でこれまでもあったことを知り、普通の状態ではこわいものではないことを知ることができた。 ○ 放射線の性質を知り、放射線を利用することで私たちの生活に役に立っていることを知ることができた。 ○ 学習して分かったことを、家族や友達に知らせたいという意欲を持たせることができた。
〈課題〉	● 放射線がどのような範囲を超えると人体によくない影響を及ぼすか、また、放射線を表す単位、放射性物質と放射線の違いについては、理解させることができなかった。副読本に加えて、映像資料なども使ってより深く理解させたい。
資料作成担当者職(教諭)氏名(中村 基次)	学校電話番号(25-2739)

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)